

【資料2】

規模・機能の検討方法について

(1) (仮称)新青森市屋内グラウンドのコンセプト(案)

(2) (仮称)新青森市屋内グラウンドの規模・機能検討プロセス(案)

(1) (仮称) 新青森市屋内グラウンドのコンセプト (案)

【コンセプト(案)】

<課題・ニーズ>

統合新病院の整備に伴い
現サンドームを移転

スポーツへの参加意欲・関心の向上
(スポーツ振興)

短命市返上・健康寿命の延伸
(市民の健康づくり)

人口減少・少子高齢化への対応
(交流人口拡大で経済効果を得る)

<本事業での対応>

青い森セントラルパーク地区に
(仮称) 新青森市屋内グラウンド
を整備

スポ[°]ーツ

誰もがスポーツに
親しめる環境づくり

健 康

市民の主体的な
運動習慣づくり

交 流

多世代・市民が
交流できる屋内グラウンド

(2) (仮称)新青森市屋内グラウンドの規模・機能検討プロセス(案)①

【規模・機能検討プロセス(案)の全体フロー】

第1回会議
(7月4日)

(仮称)新青森市屋内グラウンド全般に対する概要説明



第2回会議
(8月18日)

利用者等からの意見の整理
必要な施設、規模・機能の絞込み方の検討



第3回会議
(10月頃)

必要な施設、規模・機能の絞込み



第4回会議
(11月頃)

整備手法・スケジュール等の検討



第5回会議
(1月頃)

整備方針(案)の提示
(必要な施設、規模・機能(案)の提示)



整備方針の公表
(必要な施設・主要機能の決定)

【必要な施設、規模・機能の絞込みにあたっての視点(案)】

(1) 必要な施設(諸室)の絞込み

- ①(仮称)新青森市屋内グラウンドのコンセプトに合致するかどうか
- ②利用ニーズが高いかどうか
- ③整備しない場合の影響があるかどうか



(2) 規模・機能の絞込み

- ①利用者の増加に寄与するかどうか
- ②コストが大きすぎないかどうか

(2) (仮称)新青森市屋内グラウンドの規模・機能検討プロセス(案)③

【必要な施設の評価シート(主練習場の場合のイメージ)】

○施設種別:主練習場

頂いた意見を考慮しながら、コンセプト、利用ニーズ、整備しない場合の影響を評価し、必要な施設を絞り込む

視点		評価	
現有施設		面積:5,845㎡(100m×58m程度) 野球、ソフトボール、ハンドボール(4面)、ゲートボール(8面)、サッカー(50m×90m)、陸上競技(200mトラック、80mハードル、走り高跳、走り幅跳、三段跳)、ラグビー(ハーフコート)	
①コンセプト	スポーツ	様々な競技が実施可能であり、スポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	年間を通じて、誰もがスポーツに親しめる環境を確保することで、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	スポーツ等を通じた交流人口の拡大が期待できる。	○
②利用ニーズ		主練習場の年間利用者数は約75,700人(令和6年度)であり、主に野球、サッカー、運動会で利用されている。 また、特に冬季の利用率が高く利用ニーズは高い。	○
③整備しない場合の影響		市内で同様の代替施設がないため、整備しない場合の影響は大きい。	○
総合評価(対応方針)		全ての視点で評価が高いため必要性あり	○

※他の施設についても同様の視点で絞り込みを行う。

(2) (仮称)新青森市屋内グラウンドの規模・機能検討プロセス(案)④

【規模・機能の評価シート(主練習場の場合のイメージ)】

○施設種別:主練習場

頂いた意見を項目毎にまとめ、それぞれについて利用者の増加、コストの視点から評価し、規模・機能を絞り込む

主要機能		視点				総合評価 (対応方針)	
		①利用者の増加		②コスト			
必要規模	競技(大会・練習)に必要な面積	大会等への利用を促進する効果が期待されるが、...	○	面積増になるごとに費用は増していくが、...	△	〇〇であることから、〇〇とする	○
							
床							
暖房・冷房							
.....							

※他の施設についても同様の視点で絞り込みを行う。